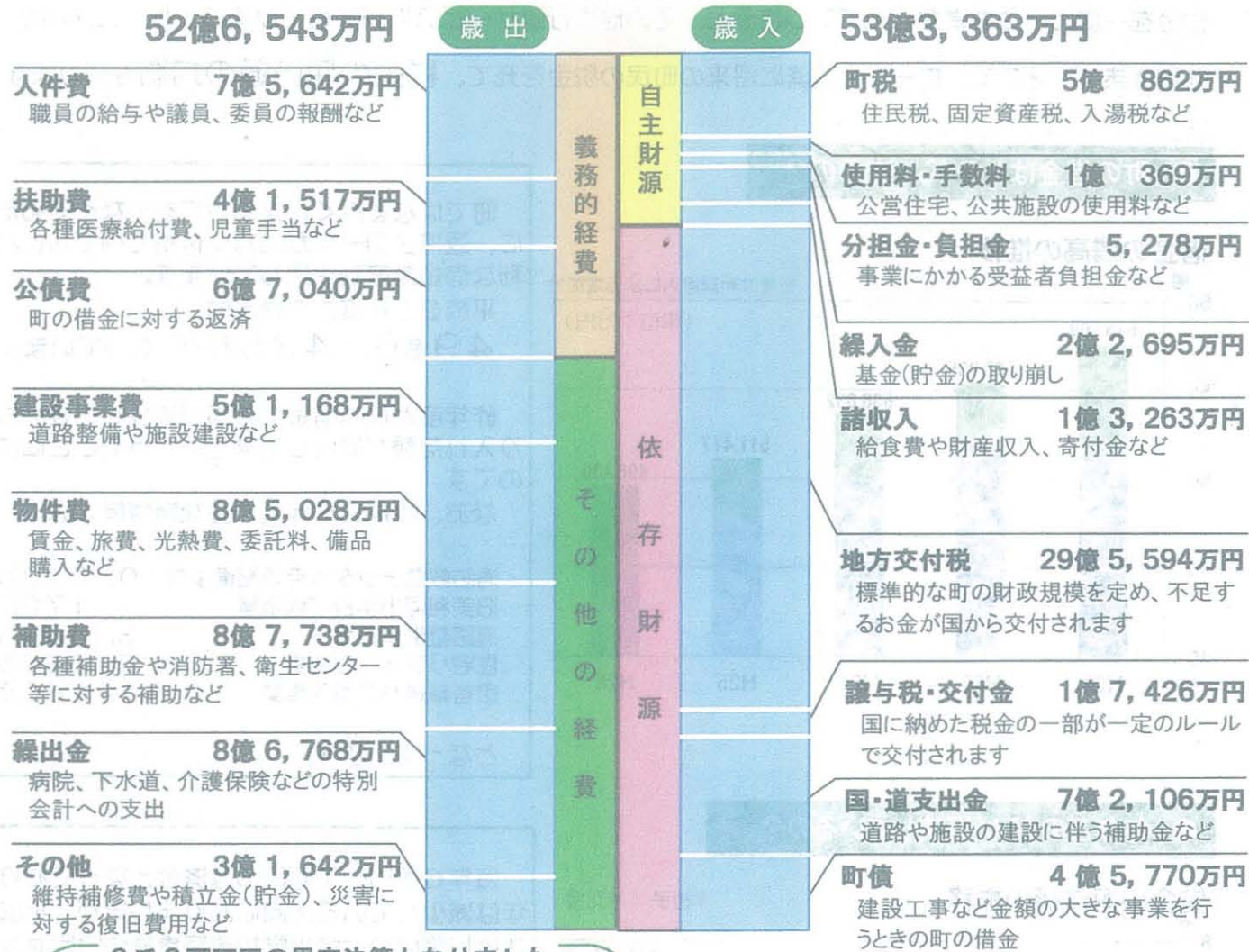




# 今金町の台所事情

発行：役場 総務財政課 財政管財グループ

## 平成26年度一般会計決算額の状況



### 6千8百万円の黒字決算となりました

6千8百万円の黒字のうち1千5百万円を基金(貯金)に積み立て、残りを翌年度へ繰り越しました。歳入歳出ともに、昨年度と比べて減少しておりますが、これは農業体質強化基盤整備促進事業の終了に伴い、歳入においては道支出金、歳出においては建設事業費がそれぞれ減少したことが要因となっております。

### 入湯税の用途について

町税の内、入湯税については、クアプラザピリカ等の施設管理経費に使用しております。



町の決算を町民1人あたりに例えると...

## 町民1人あたりの決算額

# 93万8千円

※今金町の人口：5,613人  
(平成27年4月1日現在)で計算

### 分野別の町民1人あたりの町民サービス費用は？



### 月収30万円の家庭での1カ月の支出に置き換えてみると...



★各種基金（貯金）について・・・

【一般会計分】

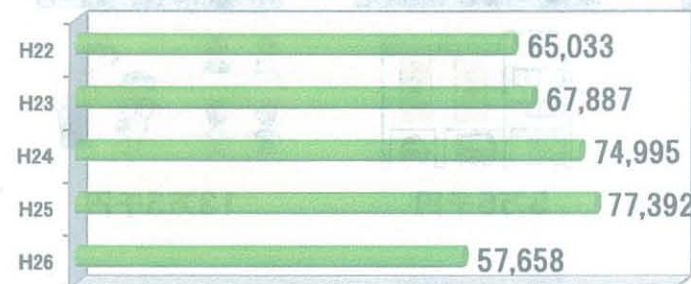
町もいざというときのために、『貯金（基金積立）』をしています。税金が急に落ち込んだり、災害が発生したりした時に備えるものや、将来の大きな事業をするためのもの、利子を財源に事業を支えるものなど、いろいろな目的をもって貯金をしています。

町では、町税などの収入が伸び悩むなか、計画的で健全な財政運営を進めるために、できるかぎり『貯金』をしています。

● 各種基金（貯金）の推移は？

① 財政調整基金

(単位：万円)

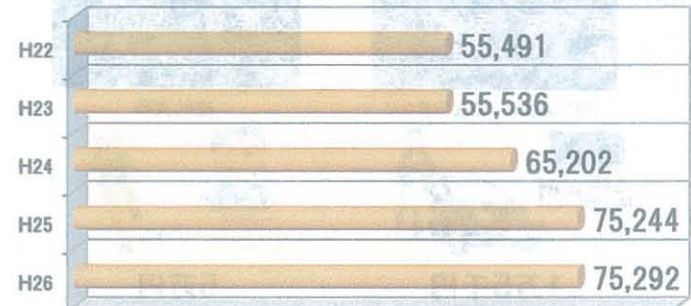


財政調整基金とは・・・

災害の発生時による不時の支出の増加や経済不況による予期せぬ収入減などに対応する財源に充てるため、毎年積み立てています。  
平成26年度末現在高は、  
5億7,658万円となっています。  
※平成26年度は基金を取崩したため、残高が前年度と比較して1億9,734万円減少しました。

② 減債基金

(単位：万円)

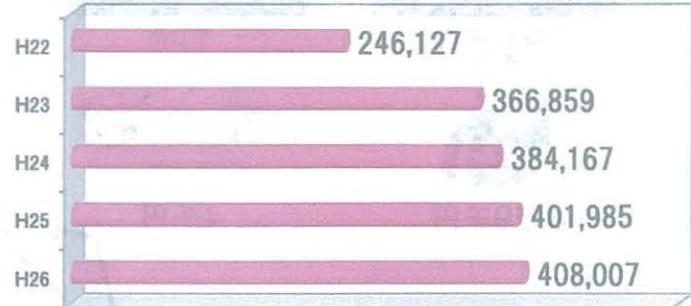


減債基金とは・・・

町には地方債という借金があり、これを計画的に返済するために充てている貯金です。  
平成26年度末現在高は、  
7億5,292万円となっています。

③ その他基金など

(単位：万円)



その他基金とは・・・

公共施設整備や地域活性化など、特定の目的のために積み立てている基金です。

- ・ふるさと創生基金
- ・文庫基金
- ・生活交通路線基金
- ・公共施設整備基金
- ・国営緊急農地再編整備事業負担金支払基金
- ・備荒資金組合納付金 など

平成26年度末現在高は、  
40億8,007万円となっています。

★地方債（借金）について・・・

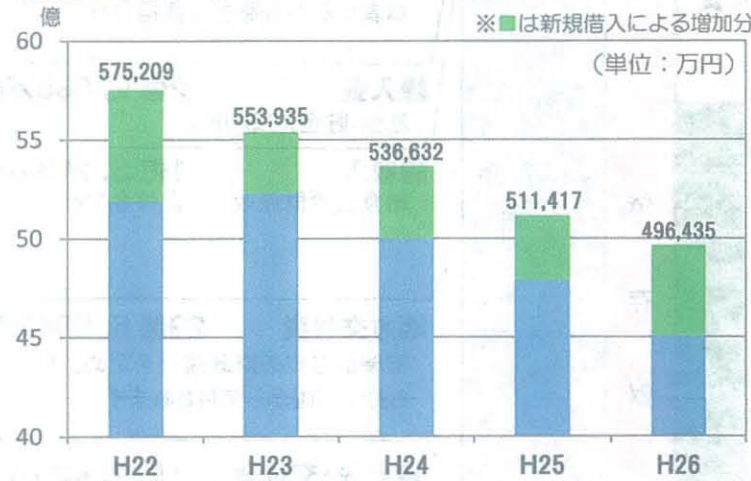
【一般会計分】

道路整備や公共施設の建設といった大きな事業を行うときは、町も一般家庭と同じようにローン（借金）を組みます。これを地方債といい、国や銀行などから資金の融資を受けます。

借金はしない事にこしたことはありませんが、公共施設などは将来の町民も利用することから、税金を一度に一つの事業に充ててしまうと、その他の行政サービスに回す税金が減り、サービスの低下を招きます。そこで、ローンの返済に将来の町民の税金を充て、税金の使い道の均衡を図ります。

● 町の借金はどのくらいあるの？

借金の残高の推移



町ではなるべく将来の負担を少なくするために、返済金の一部が地方交付税で補てんされる有利な借金制度を活用しています。

平成26年度末の残高は、  
49億6,435万円となっています。

昨年度と比べ借金の残高が減少した要因は、借り入れた額が返済した額を下回ったことによるものです。

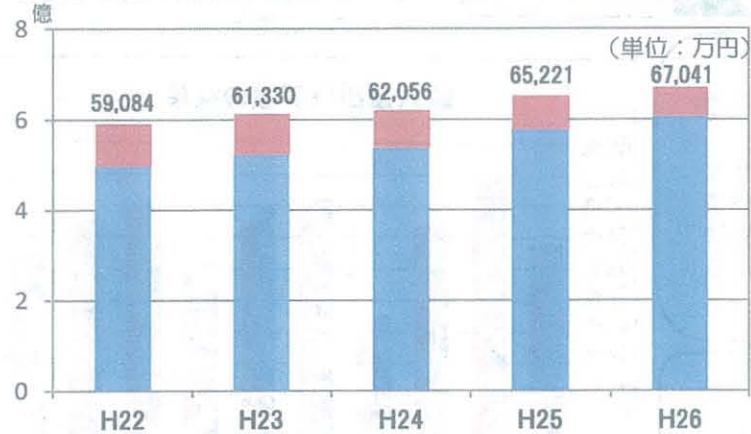
なお、平成26年度の主な新規借入は、

- 消防救急デジタル無線整備事業 10,210万円
- 旧美利河小学校改修事業 7,170万円
- 道路整備事業等 3,680万円
- 住宅リフォーム事業 2,020万円
- 患者輸送バス購入事業 1,780万円

となっています。

● 毎年どのくらい返済しているの？

借金の返済額の推移



毎年6億円～7億円の返済金となっており、近年は減少している傾向にありましたが、平成23年度以降は、今金小学校改築事業や町民センター改修事業、公営住宅建設事業等の借金の返済が始まったことにより増加傾向にあります。

なお、平成26年度の返済金は、  
元金で6億753万円  
利子で6,288万円となっています。

お問い合わせ：役場 総務財政課 財政管財グループ  
TEL 82-0111 FAX 82-2492